



2020年4月10日

ビーバートン学校区保護者の皆様へ

ブラウン州知事とオレゴン州教育省は、2019-20年度の学年の残りの期間において学校を再開しないと発表しました。この情報を非常に残念に思いますが、この最新のガイダンスは私たちをできるだけ安全かつ健康に保つための手段です。

私たちは、全ての生徒を対象としたリモートラーニング(遠隔学習)を継続し、リモートラーニング基準に対しての進捗状況を報告する計画に従います。自宅でのリモートラーニング開始にあたり、このプロセスの取り組みにご協力頂いたことについて、皆様に感謝申し上げます。4月3日の開始以来、毎日の学習方法が変わったことと思います。新しいチャレンジに取り組んでいただきありがとうございます。学校区では、リモートラーニングが普通の授業とは大きく異なって見えること、また保護者の方たちも普段とは異なる新しい方法を学んでいることを知っています。

リモートラーニングプランの第三段階がまもなく開始になります。オレゴン州教育省(ODE)の指令に基づき、[Distance Learning for All](#) リモートラーニングプラン第三段階は4月13日に開始となり、学年の年度末まで実施されます。リモートラーニング第三段階の概要を説明します。

ODEは、ディスタンスラーニングまたはリモートラーニングを以下のように定義しています:

生徒と教師が別々の場所にいる状態での指導。ディスタンスラーニングに参加する生徒は、適切な教材にアクセスでき、ライセンス・資格のある教師と継続的なやり取りができる。ディスタンスラーニングには、デジタル/オンライン学習だけでなく、マルチメディア通信と様々な学習戦略が含まれることに注意することが重要である。学習は時間的に分離されている場合とされていない場合がある(例:生徒が教師と同時にビデオ中継で学習に参加することもあれば、教師が事前に録画したビデオ等を生徒が好きな時に視聴可能)。それぞれの学校区の能力に応じ、ディスタンスラーニングを開始することとする。

ビーバートン学校区のリモートラーニング第三段階目は、上記の定義に従います。CanvasやSeeSawのようなデジタルプラットフォームを通じて生徒と繋がる教師もいれば、テクノロジーを必要としないアクティビティを提供する教師もいます。高学年になるほどデジタル学習またはオンライン学習の比率が高くなり、単独で課題を完了することができるようになります。生徒のリモートラーニングの1日は、教師主導の学習、学習補足の活動、栄養/健康の3つの要素で構成されます。教師は、学習基準に準じ生徒の進捗状況に関する証拠を集めます。プログレスレポートや成績も出ます。また、生徒に単位取得の機会を提供します(ハイスクールのみ)。全ての生徒が次の学年レベルへ進級できるよう、また卒業できることを目標としています。

教師主導の学習は学年レベルの学習であり、教師によって指導およびサポートされます。低学年での内容は、教師がビデオで生徒に物語を読んだ後、生徒に物語に関連するアクティビティを完了するように指導する等が考えられます。その後、教師が生徒の答えやパフォーマンスに対するフィードバックを提供してフォローアップします。高学年では、教

District Goal: WE empower all students to achieve post-high school success.

The District prohibits discrimination and harassment based on any basis protected by law, including but not limited to, an individual's actual or perceived race, color, religion, sex, sexual orientation, gender identity, gender expression, national or ethnic origin, marital status, age, mental or physical disability, pregnancy, familial status, economic status, veteran status, or because of a perceived or actual association with any other persons within these protected classes.

師が Canvas に指示を含む課題を提示し、生徒は単独で課題を完成させます。この場合も、教師は生徒にフィードバックを提供し、適切な場合は課題に成績をつけます。

学習補足の活動 は教師主導の学習に関連する場合があります、生徒または家族主導です。活動内容は生徒の学年によって異なりますが、例としては読書、ライティング、教育ソフトウェアや教育番組、リサーチ、ボードゲームなどです。

栄養と健康 は、家族のスケジュールと生徒のニーズのためスケジュールに含まれます。散歩、サイクリング、個人で行うスポーツ等の活動は、身体の健康を維持し生徒が学習活動に集中できるようにします。ご家庭では、1日を通じて頻繁な栄養補給と休憩を取り入れて下さい。

リモートラーニング指導時間

ODE ガイドラインに従い、**教師主導の学習** に関して推奨される 1 日の合計最大時間は以下の通りです。

- PK-1 年: 45 分間
- 2-3 年: 60 分間
- 4-5 年: 90 分間
- 6-12 年: 各教師につき 30 分間 (1 日に 3 時間)

教師主導の学習に加え、ODE は **学習補足の活動** にもガイドラインを提供しています。

- K-1 年: 1-2 時間を推奨
- 2-3 年: 2 時間を推奨
- 4-5 年: 3 時間を推奨
- 6-12 年: 1-2 時間を推奨

学習補足の活動の詳細については、ODE の [Distance Learning for All](#) をご覧下さい。

保護者と家族 は、リモートラーニングにおいて重要な役割を果たします。生徒の家が教室になり、保護者と家族は学習プロセス支援のため枠組みとサポートを提供する必要があります。枠組みとサポートの量は、生徒の年齢、学年、およびそれぞれの学習ニーズによって異なりますが、全ての生徒が家族からの枠組みとサポートを必要とします。教師と管理職スタッフは、ご家族の皆様と協力して子供たちを教育するこの新しい方法をサポートすることを約束しており、リモートラーニングの次の段階において皆様にご連絡差し上げます。また、学校区では特別教育 (Special Education) を受けている生徒、ELD サポートを受け英語を学んでいる生徒、TAG プログラムの生徒に対しサービスを提供します。詳細は以下に記載されているか、またはお子さんの学校から提供されます。

リモートラーニング段階ごとのカレンダー

第一段階: 3月16日 - 4月13日

- 家庭での補足的なリソースを利用した内容

第二段階: 4月6日 - 4月10日

- 教師が生徒と繋がり、補足的な活動を開始

第三段階: 4月13日 - 6月12日

- 必要な生徒は Chromebook を借り、教師は教師主導の学習・指導・アセスメントへと移行

リモートラーニング第三段階 目標

WE Expect Excellence

- スタッフと生徒は時間を最優先し、最も重要な学習に焦点を合わせる。
- スタッフは、問題の解決、コラボレーション、コミュニケーション、創造性を奨励し、学習目標と標準に向けた各生徒の進捗状況を監視、報告、記録する。

WE Innovate

- 学校は複数の柔軟な機会を提供し、全ての生徒が卒業に向けて学習継続できるようにする。
- スタッフと生徒は、遠隔学習のための新しいツールを学習・適用し、学習に従事するためのデジタル及び非デジタルの創造的な方法を見つけるために調整を続ける。

WE Embrace Equity

- 生徒との一体感、ケア、繋がり、幸福、精神的及び社会的感情の健康を優先する。
- 保護者への連絡や働きかけの際には公平性に注意を払い、生徒にツールや教材を提供する方法を見つける。

WE Collaborate

- 全ての生徒が定期的に教師と連絡を取り合う。
- スタッフと家族がチームとして協力し、連携する。教師と家族が共に生徒の学習を促進し、一貫した日課と学習環境を確立する。

この新しいリモートラーニングへご理解とご支援いただきありがとうございます。困難な作業であること、また前に進みながら学んでいくこと私たちは知っています。今後数週間は、状況の変化に応じて継続的に情報を更新します。引き続きフィードバックやご質問がありましたらお知らせ下さい。ご家族の皆様がこのデジタルプラットフォームをナビゲートできるように支援したいと思います。これらの新しいテクニックを学んでいく中、生徒、スタッフ、保護者の皆様のご理解と忍耐に感謝申し上げます。私たち皆で一緒に頑張りましょう。何かご支援が必要でしたら遠慮なく助けを求めて下さい。

Ginny Hansmann

ビーバートン学校区 Teaching & Learning 部門 副教育長